

# 足利風

-ashikaga-fu

2013  
10月号  
Vol. 28



## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

## ☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \* 白い“ぞう”と神楽 \*

ホワイト・エレファント(白い象)という英語の意味は“迷惑な贈物”的こと。だが、阪神淡路大震災の復興の象徴となった“まけないぞう”というタオルの壁掛け風お手拭きは、仮設の人たちの貴重な内職となった。

西宮市で小さな塾を営む、自身も被災者である一人の若い女性のもとに、全国から三ヶ月で六千人のボランティアと一億円の物資が集まった。「自分たちで立ちあがる。自分たちで生きなくちゃ。」「似非コミュニケーションは、私にはいらない。」「ほんとうに必要な支援は何かを判断できないようなボランティアは、ただの迷惑！」…行政に文句を言うのではなくて、その場で自分にできる全てのノウハウを駆使して、被災地の人々をつなないだ。それらの活動の中から生まれたタオルの“まけないぞう”と、神戸の全国集会で、足利の高校生ボランティアグループ“風”が出会った。五千本のタオルを足利で集めて神戸に送った。…弱い立場の人たちに優しい社会は、強い者の方向に弱い者を進めようとする理念・システムでは成り立たない。「弱者OK！の感性」こそがカギになる。これが、“風”の高校生たちのしなやかな感性と共振したのだった。

足利の“風”と、神戸の被災者たちを結ぶ、タオルの白い“ぞう”は、心の奥深くまで傷ついた人たちを癒す、心のこもった贈物となった。

このたびの東日本大震災の復興のシンボルとなったのは、「雄勝法印神楽」だ。壊滅的な津波被害の石巻市雄勝。十五浜の人たちは現在も仮設暮らしだ。雄勝の人たちが地域再生の復興の心の支えとしたのが「雄勝法印神楽」。ほとんどすべてが流されたが、全国からの支援もあって、浜での祭りに神楽も復活した。

後は生活の再建だ。ホタテの季節も終わり、ワカメの季節となった。足利でも足利市民活動センターで、ワカメの被災地支援販売が始まった。被災地に愛をこめて…。 (M 生)



## \* 震災被災地の風化にNO！ \*



8月4日(日)山川コミュニティホールで、文化体験プロジェクト「夢のつばさ」の東日本大震災被災地支援チャリティー公演が行われた。満席の会場は親子連れが目立った。内容は、ブラックシーサー「沖縄エイサー」舞踊やお話の会・夢のつばさの朗読・民話「さるじぞう」。そして、演劇「リトル・アース・ストーリー(地球の子)」と盛りだくさんで、熱演に大きな拍手がおくられた。

特に、演劇は、“地球が泣いている”という名言や、生産第一主義ではなく、GNH(国民総幸福度)を掲げているブータンを取り上げ、観衆の共感を呼んだ。

会場では、被災地支援の募金も行われ、合計40037円が、アジア・チャイルド・サポート(池間哲郎代表)の被災地支援金として贈呈された。終演後のアンケートでは、「子どもたちからのメッセージに感動して涙が止まらなかった」…などの感激の声がほとんどだった。

(新井街栄)

## \*「東北支援ボランティアに参加して」\*

～阿由葉栄二～

東北で被害を受けた惨状を見ていると、「私にも何か出来ないかと」、その機会がとうとうやってきた。ある団体からは「年齢が」と言われ、拒否されてしまった。サミュエル・ウルマンの青春からすれば、私は青春の真っただ中にいると自負していたのに悲しかった。



捨てる神あれば拾う神ありで、“「がんばろう 東北！」応援プロジェクト足利風”に拾われ、武者震いし、参加した。しかし、高齢もあり、もしもを考えないわけにも行かず、妻を同行し、みなさんに迷惑がかからないように、とりあえず配慮した。当日の作業は、キツイ力仕事であったが、無事乗り越えられ、自信がついた。

行きの車中で、参加者の自己紹介があり、それぞれの想いなどを語り、また、ボランティア参加はすでに数十回とか、ある女性のトラック運転手さんは、「私は寝ずに参加しました。このバスの中で足を投げ出して寝るかも知れません。その際には遠慮なく蹴って下さい」と言う猛者(失礼!)もいたりして、初めて参加する私は、内心少し恥ずかしい思いがした。しかし、作業現場のイチゴ農場でのキツイ作業にもかかわらず、誰一人も「参った！」と根をあげずに、みんな頑張り通した。

私の相棒は、短大生であったが、こんな重いものを、暑いビニールハウスの中で運搬するなんて想像もしなかった…でしょうね。その後は、津波の海水を被った水田10ヘクタールに、中和剤の生石灰を散布した。全身白くなり、うがいもできず…でも、これにより自信がつき、翌月、南三陸の被災地支援に向かうことができた。「足利風」さん、ありがとう！

---

＊ぱそばら あしかがネットドットコム＊

代表 宮師 保

この足利市にパソコンサークル「ぱそばら あしかが net.com」が出来ました。「ぱそばら あしかがネットドットコム」と呼んで下さい。隣りの市にあって足利になかったものです。私たちはちょっと違った味のある交流と知識の共有活動をする計画です。(みんなが先生、みんなが生徒。集まるみんながハッピーとなるように…。)

私たちの仲間には PC にあまり強くない方々も沢山います。強い方もいますが多くありません。「ぱそばら」を冠に付けていますがそれは当分先の先です。現状況では「ぱそばら」は出来ません。が、仲間に教える程度のことはできます。だから暫くの間は「パソコンで遊ぼう！」が中心です。遊ぶことならいろんなことを知っているはずです。遊びならば興味があります。それを中心に活動するつもりです。

現在はインターネットが普及しました。ネットは自宅から外の世界を楽しむことができます。独りでは難解なトラブルに相談も解決もできませんが私のこのサークルなら相談にも解決にもお手伝いができます。そして遊ぶための楽しむ情報を知ることもできます。「ぱそばら あしかが net.com」はパソコンで遊ぶための活動をしています。パソコン初心者もどうぞ、興味ある方ならどなたでも参加できます。

パソコン初めての方なら私たちを支援している「ぱそばらシニアネットあしかが」の講習会を紹介します。シニアのための超初心者講習会がお役に立ちます。

## ① インフォメーション ①

### ☆ 想田和弘監督作品「演劇1」「演劇2」一挙 上映！！

～平田オリザの世界を合計5時間42分の作品に！！～

日 時：平成 25年 11月 9日(土) 午後 1時 30分 ～

会 場：足利市助戸公民館

入 場 料：一般 1200円 高校生以下 700円 ※当日は、300円増

問 合 せ：「演劇1・2」を観る会(足利市民活動センター内)

TEL:0284-44-7311



### ☆ひと to ひとのフォーラム足利 2013

～足利生まれの世界的な映画作家(ニューヨーク在住)～

① 想田和弘講演会

「よく観ることは、よく生きること」

② 想田和弘監督作品「PEACE」上映

③ トークセッション

日 時：平成 25年 12月 7日(土) 午後 1時 ～ 4時 30分

会 場：足利市民プラザ小ホール

問 合 せ：人権推進課

TEL:0284-73-8080

### \* センターからのご案内 \*

#### ☆みんなの広場～10月・11月のご案内～

\* 西上州竹皮編でんえもん展(9月30日～10月10日)

\* 川島直人水彩画作品展(10月15日～24日)

\* 足利絵手紙の会作品展(10月28日～11月7日)

\* よみがえる館林城展(11月11日～21日)

\* カリグラフィー展(11月25日～12月5日)

#### ☆相談室&講座のご案内

\* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

\* 講 座 = 每月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

#### 編集後記

だんだんと過ごしやすい季節になってきました。

秋の味覚も楽しみですが、今年は、身近な文化にちょっと触れられたらなあと考えています。(コッペ)

# “ 講座・相談室のご案内 ”

## 【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
10/9(水)	子どものための防災教育	上武 敬和さん (足利PTA・OB会代表)
10/23(水)	子どもと大人の 遊び場づくり	亀山 賢造さん (亀工房代表)
11/13(水)	わかりやすい食育	Kids えふろんのみなさん (足利市)
11/27(水)	NPOの創り方教えます	鈴木 光尚さん (足利NPOフォーラム代表理事)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所）2階 ワーキングルーム

## 【講座】

日付	講座名
10/17(木)	福祉コーディネーター 講師：永島 徹さん（独立型社会福祉士事務所「風のささやき」代表）
11/21(木)	まちづくりコーディネーター 講師：和田 昇三さん（足利工業大学教授）

時間 午後7時～午後9時

会場 足利市民活動センター（旧保健所）2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

## “企画展のご案内”

期間	企画展名	出展者
9/30 (月) ～10/10 (木)	西上州竹皮編でんえもん展	前島 美江さん
10/15 (火) ～10/24 (木)	川島直人水彩画作品展	川島 直人さん
10/28 (月) ～11/7 (木)	足利絵手紙の会作品展	足利絵手紙の会
11/11 (月) ～11/21 (木)	よみがえる館林城展	田中 茂雄さん
11/25 (月) ～12/5 (木)	カリグラフィー展	嶋田 栄子さん

展示会場 足利市民活動センター (旧保健所) 3階 みんなの広場  
(足利市大橋町1丁目2006-3 ☎ 0284-44-7311)

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝